



# 日本山の科学会 2019年秋季研究大会

10月26日（土）：研究発表および公開ミニ・シンポジウム

10月27日（日）：現地討論会〔川崎市生田緑地〕

会場 専修大学サテライト・キャンパス（小田急線向ヶ丘遊園駅徒歩1分）

## 研究発表

10:00 開場・受付開始  
10:25-12:00 開会あいさつ ポスター発表（午前の部）  
13:30-15:00 ポスター発表（午後の部）  
12:00~12:30 日本山の科学会総会  
12:30~13:30 休憩（昼食は会場外でお願いします）

## 公開ミニ・シンポジウム「山の科学一人と自然」

14:45 受付開始  
15:10-15:15 開会あいさつ 趣旨説明  
◆サブテーマ1 日本の山における自然環境とその利用  
15:15-15:40 飯田義彦（金沢大）「山林資源の利用史からみる山村文化の創造  
- 用材と木地を生んだ里山の針広混交林」  
15:40-16:05 松尾容孝（専修大）「コモンズとしての現代林野の模索- 利用と保全を  
併進する林野共同体-」  
◆サブテーマ2 欧州の山における自然環境とその利用  
16:10-16:35 横山秀司（九州産業大名誉教授）「東アルプスの山岳景観-  
景観生態学の視点から」  
16:35-17:00 山本 充（専修大）「オーストリアの山岳チロルにおける景観の変容」  
17:00-17:35 総合討論  
17:35-17:40 閉会あいさつ

研究交流会 18:00-20:00 向ヶ丘遊園駅北口「ちやすけ」

## 現地討論会「山の科学で観る多摩の横山」

10月27日（日）9:00 向ヶ丘遊園駅南口集合 12:30 生田緑地解散  
案内者：磯谷達宏（国土館大）・小森次郎（帝京平成大）  
定員：20名（申し込み先着順）  
参加費：600円（別途保険代400円）  
多摩丘陵の地形・地質や生物、都市公園の利用のあり方について解説し、討論します。

※発表申込・予稿の電子投稿・現地討論会・研究交流会の申し込みは「日本山の科学会」ウェブサイトおよび会員メーリングリストでご案内します。

主催：日本山の科学会 共催：専修大学人文科学研究所 信州山の環境研究センター



公式サイト <http://jasms.org/>



専修大学サテライトキャンパス